

高松市で「四国におけるSociety5.0の実現に向けた連絡会」 第一回会合を開催



＜四国総合通信局長からの挨拶＞



＜会合の様相＞

* 1 連絡会に参加の地方行政機関

四国総合通信局、四国財務局、四国厚生支局、香川労働局、中国四国農政局、四国森林管理局、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局

* 2 設立の目的

四国地域におけるさまざまな分野における地域課題の解決を図るため、国の地方出先機関の連携と相互の協力体制を強化して一体となってIoTの実装や導入、ICT利活用やセキュリティ対策関連施策を展開することにより、Society5.0の早期実現を目指します。

四国総合通信局(局長:村松 茂)は、他の国の地方行政機関8機関(*1)とともに、令和元年7月3日(水)、香川県高松市において「四国におけるSociety5.0の実現に向けた連絡会」(*2)を発足しました。

会合には、構成員として四国地域においてICT/IoT利活用にかかわる国の地方行政機関に加え、オブザーバーとして四国4県の情報通信や産業振興部門及び四国経済連合会から、あわせて31名が出席しました。

冒頭に、本会の事務局を担う四国総合通信局及び四国経済産業局の両局長から、「本会が、四国の課題解決を図る新たな連携の枠組みとして、各行政分野のICTやIoTに関する施策や取組を一体的に推進し、より実効性のある解決策や地域活性化の先行モデルにつながるものと期待する。」旨の挨拶がありました。

本会は当面2021年度までの3ヶ年を活動期間として、各構成員間の連携・協力のもと、各構成員が計画している行事(ICTやIoTの導入講座、セキュリティ対策、テレワーク普及セミナーや現地施策説明会)について、メーリングリストを活用して情報共有を図りながら、より効果的な実施に向けて企画、検討等を行います。また、地域における課題への対応として、課題に応じた推進チームを編成し、各構成員における施策の共同展開により課題解決策を検討・提案していくことをめざします。

会合参加者からは、「国の機関が、情報を共有して関連する施策を協働して展開いただければ高い効果が期待できる。」「これからはよりICT/IoTの実装を目指して人材育成は急務。管内におけるICT/IoT実装・セキュリティ対策関係講師を紹介いただきたい。」などの意見がありました。

